

7月17日、第2回AD塾に「ジョイポリスの生みの親」川勝良昭先生を講師にお招きして開催されました。現在は、経営コンサルタントを中心に活躍されている川勝先生は、まずアプローチとしてグローバルな視点から今の日本は構造的な危機に直面している事を取り上げ、教育問題、人材の海外流出、そしてベンチャー企業の惨状を語られました。結果、日本の国際競争力は著しく低下してしまい、現状下での危機打開策は早い時期に国民ひとり一人が危機意識を持ち、企業（経営者）が経営戦略、経営改革（イノベーション）を掲げ企業を再生させ、世の中に求められている新しい価値あるものをいかに創れるかに掛かっていることだと判り易く説いて頂きました。続いて、世界を席巻した経済界の著名人のお話を例にあげ、多くの成功者は既成概念にとらわれず、消費者を豊かにする「新しいライフスタイル」を提案し続けた結果、今があるのだということもお話し頂きました。続いて、ソフトを形にする〇〇プロデューサーと新しい事業・価値を発見し、発想し、それを実現していくビジネスプロデューサーの違いを挙げられ、これまでの情報の時代から「コンセプトの時代＝感性の時代」であるとお話され、ご自身の今までに携わったイノベーション・プロジェクトを引用されてご説明頂きました。「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン・プロジェクト」(新日鐵に在籍当時)がなぜ実現出来なかったのか。また「セガ・ジョイポリス・プロジェクト」(セガに在籍当時)を成功に導いた時の社長との駆け引きなど、大変興味深いお話でした。そして、講演終了後は弊社社員から質問もあり、その中で先生の「夢」とはなんですか？という問いに対し、「私は音楽が好きで今でもジャズバンドを組んでLIVE活動も行なっています。作曲もしており、いずれ私の曲が世に出てヒットすれば幸いですね。」という私たちの予想に反した答えが返って来て、先生の違う一面も垣間見ることが出来ました。今回は、100項を超える資料をご用意して頂きお時間の関係で全て触り部分しかお話を伺うことが出来ませんが、聴講した私たちはモノの見方がこれから少しずつ変わっていかねばならないという事を改めて学び、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



勝俊明氏プロフィール

昭和51年 関西学院経済学部卒
昭和51年 (株)電通入社 神戸支局配属
昭和62年 東京本社 営業局
平成8年 営業局専任部長
平成10年 営業局部長
平成14年 営業局次長
平成18年 コーポレート企画局
シニアプロジェクトマネージャー
平成19年 CSR 室長
平成21年 エグゼクティブプロジェクトマネージャー
平成24年 (公社)日本広告審査機構へ 専務理事に就任



次回のAD塾は...

受講者募集中！

>>>弊社社員までお問合せください。
2012年は、毎月第3火曜日(8月・12月を除く)に開講予定です。

第3回 AD塾 日時：9月18日(火)18:00～20:00

講師に元電通マン **勝俊明氏**をお招きします。

テーマ：「**企業におけるアクセルとブレーキ**」

第3回

たまには休まれたらいかがでしょう。

「東日本復興支援活動」
がんばれ南相馬！

COO代表取締役社長
岩澤 二三夫



土曜日夜24:00。江東区西大島のBAR/パサに集合したボランティア10名。10名乗りのレンタカーに乗り込み、いざ福島へ。朝方、南相馬 道の駅で集合時間まで休憩。現地ボランティア、他地区からのボランティア、計30名で朝礼。



まずは、海岸(小高地区)搜索。2,000人近い方がまだ見つからないので、せめて海から戻ってくる骨探し。



午後は、今年4月から1年振りに入れるようになった20km圏内の家の泥まみれの家具・農機具の運び出し。床下・庭の泥かき出しなど。この日は、馬小屋作業。



成長中のサツマイモ・長ネギ



<今月のプレゼントコーナー>

☆収穫物☆
(先月のプレゼントはこの中から！)



質問に正解された方の中から、抽選で3名様に「岩澤農園」で収穫した「ゴーヤ」をプレゼント!!
応募は、adtain編集部まで。

先月のプレゼントコーナーの答えは、
(賞) 深谷でした。



質問
私は、何を植えたのでしょうか？

<今月のツイート> ~子供の会話~

A子「プリキュア28人の名前は覚えられないのに、たったの17人しかいない
平成の総理大臣の名前って、なんで覚えられないのかな?」
B子「プリキュアは、最低1年以上戦ってるからじゃない?」

夜明けの Entertainment 第9回



CEO代表取締役会長
檜垣 俊幸

お金がある人もない人も、病気の人も、頑固な人も、若い人も年老いた人にも、苦慮しないものに「時間」という概念があります。この概念への挑戦は人類最後の挑戦と言われています。SFで「時空を飛び超えるシナリオ」がよくありますが、CGによる映像制作で現実味を帯びてきました。予測困難な「次世代」は、拍車をかけて変わるスピード時代へと変貌しました。日進月歩などは昔のスピードであり、今や秒進分歩のスピードです。その貌(かたち)は、明らかに一つのベクトルとルールに沿って一定方向に向かっていきます。特に、Web社会網の見えない進化にはついて行けない感すらあります。便利で時短に向かう進化と云う名の技術革新は「斬新な時空間に挑戦する価値」の創造に向かって変貌し、次世代などと、呑気に構えていると、次世代が古代になってしまう危険すらあります。さらに、その領域は地球の裏と一瞬にコミュニケーションできる領域まで広がり、限りなく大きな社会環境の中で生きてゆかなければならなくなっています。

遙か遠い宇宙との交信や映像が入手できるという高度な空間領域の広がりには多少の不安すら感じますが、これは未来への入口付近の光景にすぎません。その中で私達エンターテインメント志向の拡張を志す者にできる事は、その「波に乗り、風に乗る」事です。単なるやり方のリセットではなく、バージョンやシステム自体の変更に考えます。更に、3Dから4Dへの立体的な空間の変化を余儀なく迫られているのではないのでしょうか。それは、新しい時代と呼ぶには、少し異なった変貌の様気がします。それは、人類が作り上げた「時間」という概念を暮らしのパラダイムに取り入れた、異次元の生き方への提案です。

全ての価値基準には、時間的変貌がある様に、モノの価値は時短の原則に向かい、私達の領域であるソフトの価値は、同じ時間をゆっくりと長く感じられる「味わい」や「共感」、「感動」の継続的ソフトが求められる時代になります。それは、ボーダレスな文化交流や、コラボレーションが始



今月のモデル モデル：Stefanie / バナノニック「ラムダッシュ」webムービー「saon de Subehada 出演中」
所属：(株)フリー・ウェイブ http://www.f-w.co.jp

adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

まり、バージョンの異なった役割を持つ、異次元の価値消費または価値創造を楽しむ様になります。ADプロジェクトの使命も従来と異なり、求められるものではなく、異次元交流価値創造のソフトの提供、また参加する共感ソフト創造の提供になります。4月に発表した戦略組織図に託されたバージョンの違い、プロトコルとフォーメーションをよく読み取り、意識して暮らしの活性化を図ってください。また、共感できる企業として、整備されている最先端デジタル・

コミュニケーション・システムを屈指して、「風に乗る、波に乗り」、超バージョンのエンターテインメント・プロジェクトを目指しましょう。それは、私達の必然的使命でもあり、「夜明け」でもあります。

■ 次回は、～プロデューサーへの道～
「夜明けのエンターテインメント 第10回」
をお送りします。

世界の彫刻物

Heath Satow
ヒース・サトウ
(February 6, 1969 ~)



～アメリカ～
デンバー・コロラド州

若き Heath Satow のデンバー動物園を代表するリッチな作品です。しかし、その実物大の彫刻は本物を凌ぐ怖さを持っています。ロサンゼルス・カリフォルニア州で活動している彼は、建築家でありデザイナーでもあります。其の感性は鋼とステンレスに魂を持ち、創造的で信頼性の高いアーティストで、インスピレーションを大切に金属彫刻家です。



想像を超えるバーチャルな怖さのある彫刻物

営業本部 第1プロジェクト

TOPICS

作品名：エコライフ・フェア2012 JAF Booth

日時：2012年6月2日(土)～3日(日)
会場：代々木公園
種類：制作・運営



Producer
高野 恵理子



▶ エコドライブの課題は「実践」。

6月は環境月間。環境省主催のイベント「エコライフ・フェア2012」に出展するJAF様のブース制作・運営に携わせていただきました。エコドライブでエコライフに。たくさんの来場者の方々にエコドライブを知っていただくことはもちろんのこと、実践につながるコンテンツを心がけて展開しました。今回新しく登場したコンテンツ「ECO DRIVE クイズ」。ブース壁面にW3,000×H2,000mmのサイズで貼り出された「ECO DRIVE マップ」を見ながらクイズに答えるというもので、会期中は1,000人の方にご参加いただきました。「ECO DRIVE マップ」の中にはJAFが推奨する14個のエコドライブの方法が盛り込まれており、見るだけでもエコドライブについて知ることができますが、クイズにすることで記憶に残り運転の際の実践につなげることを狙っています。ご覧いただいた来場者の方には「納得」や「新発見」をしていただけたのではないかと思います。その他にも毎回大人気のエコドライブピンゴやお子様向けのエコカード発行コーナーなど、大盛況のうちに終了することができました。エコドライブという取組みが世の中に浸透してきた今、次はどれだけの人が実践するか。結果が見えにくい「エコ」をアプローチする難しさを実感しています。ひとりひとりのちょっとした心がけが大きな結果へとつながるエコ。ひとりでも多くの方に実践いただき、カタチとなるような企画を目指します。



▶ new face!!

7月より第1プロジェクトに新メンバーが加わりました！
■name/ 浦山 善明 (yoshiaki urayama)
■birthday/7th MAY
■blood type/AB
近日 弊社 HP にも登場予定です。よろしくお祈りします！



営業本部 第2プロジェクト

TOPICS

作品名：ミュージカル忍たま乱太郎 第三弾 再演 山賊砦に潜入せよ

日時：2012年7月2日(月)～7月15日(日)
会場：池袋サンシャイン劇場
種類：舞台制作・運営

Assistant Director
林 諒



▶ イケメンミュージカル再演！

皆様初めまして、7月より入社しました、第2プロジェクト林です。時間が経つのも早いもので、入社してからもう少しで、1カ月が経とうとしています。入社初日から「ミュージカル忍たま乱太郎 第三弾 再演 山賊砦に潜入せよ」の現場に入り、全く右も左もわからない状態の中、あっという間に千秋楽を迎え、2週間の初めての現場業務は無事終わりを迎えました。現場での業務は、行うこと全てが未知との遭遇という感覚でしたが、結果として、エンターテイメントが出来上がるまでの最後の部分が見られ、素晴らしい経験となりました。今回は、ミュージカルの制作ということですが、何もかも初めての私にとって、他の会社の方とのしっかりとした連携の必要性、キャスト、音響、照明を含めた舞台スタッフ、また会場運営のスタッフとのしっかりとしたやり取りはとても重要で、一つのエンターテイメントを動かすのは、とても大変なことだと感じました。また個人の課題として素早い判断や、冷静な対応力など、その場に合った適応力が必要となることも感じ、これから携わる色々な新しい現場での業務に活かしていけたらと思います。私は5年ほどオーストラリアに留学経験があり、大学ではデザインを専攻していました。英語も少しは話せます。お酒は、オーストラリアのワインが好きなので、ワインの知識はあります (!?) 今後は、自分の経験を生かして、一日でも早くエディープロジェクトの一員として、会社を盛り上げ、お客様により良いエンターテイメントが提供できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



ミュージカル
忍たま乱太郎 第三弾再演
～山賊砦に潜入せよ～
(C) ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会



7月から adproject に入社致しました杉本と申します。突然ですが、30歳を過ぎ「もっとイイ女になれ！」と両親を始め近しい友人達から、あまりにも多く言われるので、今回「目指せイイ女」をテーマにして、記事を書かせて頂く事になりました。少しづつイイ女(になる予定)ですので、イイ女になった際は「よっ、イイ女！」と声をかけて頂けると嬉しいです。

秘書・業務推進室
杉本 多佳音



第1回 ～ロールモデル～

まずは「イイ女」とは？を考えたいと思います。最初にも書いた様に、周りの人から「女らしくない」と言われるので、女らしさとは・・・？と考える機会がよくあります。女性をイメージするキーワード、例えば「おしとやか」「可憐」「純真」「大和撫子」等々たくさんありますが、女らしさが必ずしも、イイ女の条件であるわけではないのでは？と考えます。女らしくない、という言葉の中には「積極性」「強さ」

TABLE ENTERTAINMENT

使い続けて20余年、未だ解読しきれない悩ましきワードエンターテイメント。巷の作品を紹介しながら一緒に解読していきましょう。

第3回
エンターテイメントとは「約束」である。

「高いところ」「狭いところ」そして「機嫌の悪い女性」は苦手であるが、ついつい苦手なことにちょっかいを出してしまうのも人間のカルマである。と言うわけで「崖っぷちの男」を鑑賞。劇場予告で「うわぁ 怖そうだけど面白そう」という直感だけで選んだので、主人公が高層ビルの窓の縁という状況から会話劇のかなと思っただけ、大満足の娯楽サスペンス！

ニューヨークの高級ホテルの21階の窓の縁に立つひとりの男。自殺願望か、狂言か、はたまた…主人公は真に「崖っぷち」の人生でもあった。ヒロインは彼を説得する女性交渉人。彼を取り巻く家族や同僚、過去のフラッシュバックを交えながら、真実が明らかになってゆき、そして堂々のハリウッドエンディング。

落語にはオチ(サゲ) おもてなしには「お迎え」だけでなく「お見送り」があるように、秀逸なエンターテイメントには、脇役や小さなエピソードにもちゃんとルーティンなシチュエーション「お約束」がある。

ネタバレご容赦が進めると、主人公と窓越しに話していたヒロインも定石どおり窓の縁に立つ状況になるし、窓の縁に立ったからには主人公はちゃんと飛び降りる。ツボを心得た演出！家族や同僚のそれぞれのエピソードは悲喜こもごもながらひとつづつ整理される。

初出音源なので、我慢できずにまた買っちゃいました。最後の嘶家古今亭志ん朝 CD BOX 全30枚。と言う訳で暫くは小貧民



常務取締役
岩下 信而

とはいえ若干ステレオタイプやご都合主義の感もある作品だけど、それを補うリズムの良い演出なので気にならない、納得の102分！

ただ楽しいことやサービスを無造作に並べただけではエンターテイメントとはいえない。上質のエンターテイメントには、アドリブや思いつきだけのように見せかけていても、ちゃんと約束された演出や仕掛けを施されている。そしてそれを気づかせないのも、これまたエンターテイメントの極意！。エンターテイメントの道険し、されど楽し、恋せよ乙女！目指せ「イイ女」！それでは次号で。Ciao

これでホントにお酒が盛り上がる？
試すのはアナタ！



こーゆーシーンの時は殆ど目をつむってました(苦笑)

営業本部 第3プロジェクト

TOPICS

作品名：大田区平和都市宣言記念事業 花火の祭典

日時：2012年8月15日(水)
会場：多摩川河川敷付近
種類：総合管理

Assistant Director
黒川 和紀



▶ 夏の思い出

2011年3月11日14時46分に起きた「東日本大震災」。昨年度は多くの花火大会がやむなく中止となりました。adプロジェクトにとっても例年、総合管理として携わせていただいている「大田区平和都市宣言記念事業 花火の祭典」もやむなく中止となった花火大会のうちの一つでありましたが・・・お待たせしました、今年は花火打ち上げます。大田区が昭和59年(1984)8月15日に世界の恒久平和と人類の永遠の繁栄を願って実施した「平和都市宣言」を記念し、毎年8月15日に行う花火の祭典。25回目を迎える今年は平和への想いと、被災地の1日も早い復興の祈りを込めて大きな花火を打ち上げます。今年は施工会社が変わり、ツーカーで話が進まないという苦勞もありますが、そのぶん、一つ一つの作業を一から見直す良い機会にもなっており、たとえば看板については、大田区側、川崎市側と大量の看板が大きく分けると2種類あるのですが、予告看板と当日設置看板が同じページに混在してしまいましたが、設置日に合わせより分かりやすく整理。図面関係については、昔は存在していた階段が、現場で確認するとなくなっていることがありましたので、現状に合わせ修正。最終的には自分のためではありませんが、本番で困らないよう日々邁進しております。基本的に例年と大幅な変更がないので、全ての作業が一からではないのですが、「去年はこうやってきたから、これでいいんじゃない？」ではなく「去年はこうやってきたけど、こうしたほうがいいのか？」と考えを変えていくことで、毎年、足を運んでくださるお客様に対し、見えないホスピタリティを本番に向けしっかりと行っていきたいと思います。まさか、花火を見る側からやる側になるうとは思いませんでしたが、日に日に黒くなっていく肌を見ながら、そして太陽を十二分に感じながら、今年の夏は私にとって忘れられない夏になりそうです。

< 花火の祭典 過去の様子 >



個人的に一番好きな花火がこれ！



会場にびっしり人が集まります！

営業本部 第4プロジェクト

TOPICS

作品名：大手企業イベントに見る、会場作りの大切さ

日時：2013年1月
会場：大手企業プロモーションイベント
種類：プロモーション全般

Producer
橋元 大輔



▶ 買うものは自分で決めるか？場所がそうさせるのか？

買わなくてはいけない状況を作る。買う衝動を起こさせる。もちろん、強制ではなく、無意識に自己判断だと思ってしまう。特に販促に携わる人間にとっては永遠の課題である。商業施設に携わって五年、前職は球場、その前は小売。一貫して、人の動きを司るオペレーションをしてきたので、今、その課題を突き付けられて、悩みは尽きない状況です。ただはつきりしたこともあります。それは、何が一番売れるか、何が売りたいか…ここをはつきりすれば必ず売れる仕組みが作れることは間違いありません。それは僕らのマターでは無く、マーケティングもしくは実績のデータから導き出される事実ですので、その分析さえ間違わなければ、確実に売れる仕組みは作れると考えています。さあ来年の1月。変化が激しいこの時代に、全力で追い付いて、軽く追い越して行くために…何を提案し、何を考えることができるのか？挑戦？調整？はまだまだ続きます！

新人紹介
将来の Producer
大島 有貴

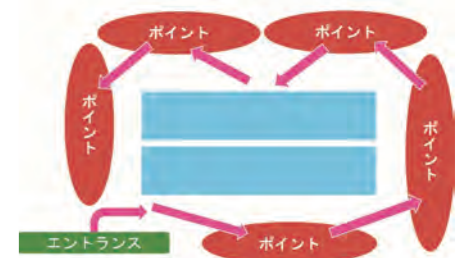


◆紹介コメント(文・橋元)
なぜかこのadprojectは新入社員のことを「新人」という方が多くて…業界なんですか？さてその新人あだ名は「ゆうき」ただ名前ですが。その業界の最高峰？テレビの世界からやってまいりました。例に漏れず厳しい業界で鍛えられただけあって、突拍子もない？アイデアと根気には頭が下がります。どうぞ可愛がってやってください。期待大！！

《円形効果》

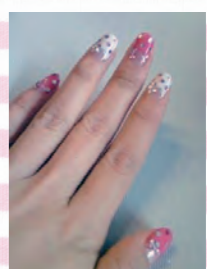


《マグネット効果》



など、現代の女性像、私の考える「イイ女」が持つ要素が多く含まれており、例えば、私の目指す女性の1人「緒方貞子さん」の様に、家庭を持ちながら仕事もバリバリこなす、そんな生き方の人を「イイ女だー！」と思って止みません。実際に雑誌でも「生きるお手本にしたい働く女性」のランキングなどでも、緒方さんのお名前を見かける事がありますが、緒方さんは女らしさか必ずしも、イイ女の条件であるわけではないのでは？と考えました。女らしくない、という言葉の中には「積極性」「強さ」

今現在「イイ女」じゃない私も、未来はわからないかも…と希望を持てる気がします。つまり、「イイ女」だけでなく「イイ男」とは、私個人的に「生き方のかっこいい、目標となる人」＝「イイ女、イイ男」なのではないかと思っています。そこには強さや積極性、向上心、もちろん美容しかり。外見、内面ともに磨いていきたいと思っています！そんな「イイ女」になるべく、今後も奮闘してまいりますので、宜しくお願い致します！



今や男性もネイルをする時代。男性も、女性も爪先からキレイにする・・・手の先がキレイになってると、仕事へのモチベーションも、テンションも上がる気がします☆